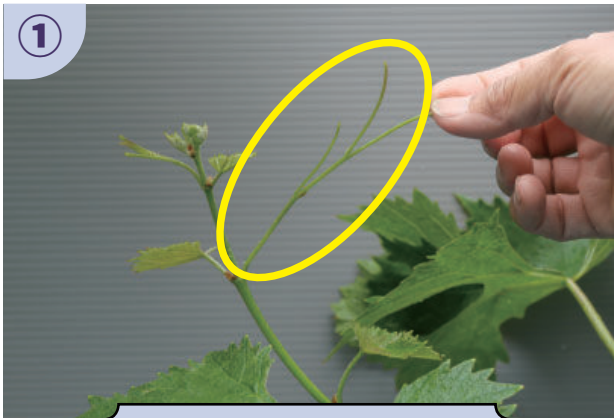
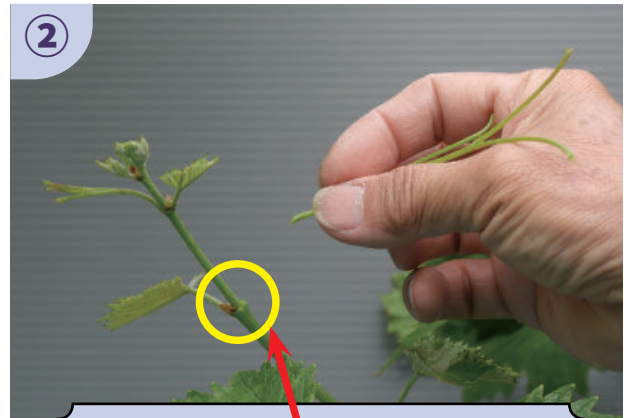


# ぶどう枝管理（巻づる） マニュアル

作業内容：本葉の脇から伸びた「巻づる」を切り落とす



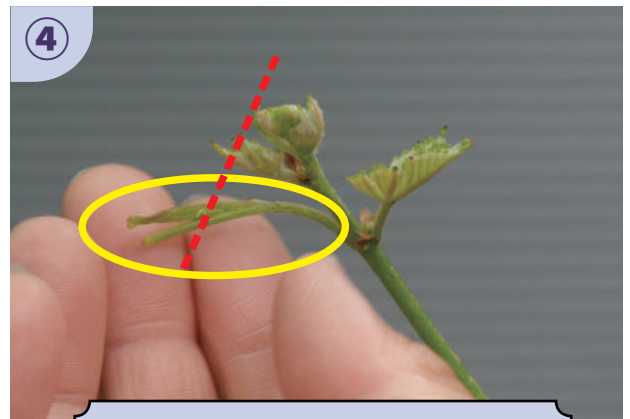
これが「<sup>まき</sup>巻づる」です



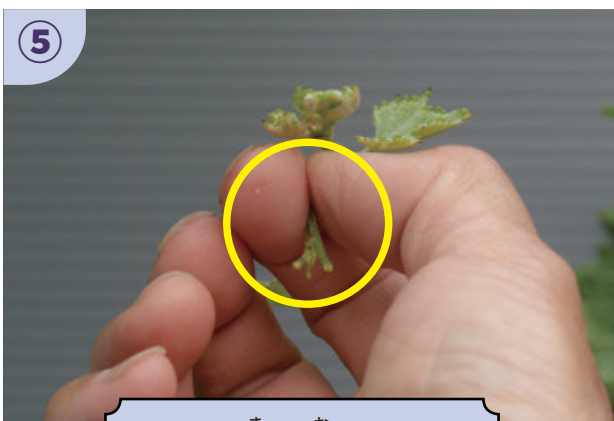
もと <sup>まき</sup>き <sup>お</sup>お  
元から切り落とします  
(ハサミまたは爪で切り落とします)



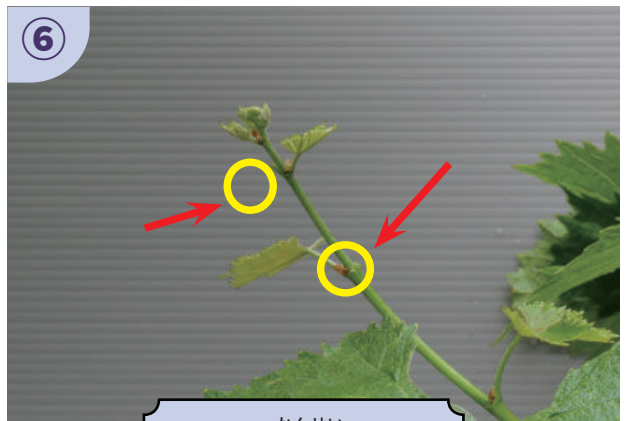
<sup>まき</sup>まき <sup>あか</sup>あか <sup>のこ</sup>のこ  
巻づるの赤ちゃんが残って  
います



ほんしょうせんたん <sup>なが</sup>なが <sup>まき</sup>まき  
本梢先端より長い巻づるです



これも <sup>まき</sup>まき <sup>お</sup>お  
切り落とします



かんせい  
これで完成です

## ● 作業スキルや精度を高めるために ( 指導員が心がけること ) ●

- ① 指導員の指示が無くても自力で遂行できることを確認しておきましょう (事前準備)  
※遂行：立ったままの姿勢で「ハサミ又は爪で巻きづるの根元を切り落とす」工程
- ② 作業のしやすい枝 (見分けやすい枝、手の届きやすい枝) から作業を開始しましょう (段階付け)
- ③ 作業になれるまでは作業スピードよりも正確性を重視して行い、指導員が必ず確認しましょう (段階付け)
- ④ 定期的に休憩時間を取り、作業再開時にはポイントを再確認しましょう (集中力の維持)
- ⑤ 指導員は、仕上がり状況を随時確認して、必要に応じて対象者に応じたわかりやすいアドバイス・モデリングを行いましょう (精度の向上)
- ⑥ 農家に同じ園地で作業を行ってもらい、適宜、作業状況の確認やできていることを中心に声かけを行いましょう (意欲の向上)

## ● マニュアルの使用にあたっての注意事項 ●

- ① ぶどうの房には、手で触れたり、頭 (帽子) をぶつけないように気をつけましよう  
ぶどう粒の表面をうっすら覆っている白っぽい果粉がとれると商品価値が落ちます
- ② 巻きづるが固くて取れない場合は、ハサミで切ることもあります
- ③ 巻きづるの処理に慣れてくると、脇芽の処理を同時に行うことができます

協 力 (一社) 岡山県作業療法士会  
岡山県農林水産総合センター普及推進課  
(公財) 岡山県農林漁業担い手育成財団  
作 成 岡山県農林水産部農産課  
岡山県農福連携サポートセンター